

2026年3月25日

各位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー  
インヴィンシブル投資法人

代表者名 執行役員 福田直樹

(コード番号: 8963)

資産運用会社名

コンソナント・インベストメント・マネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長 福田直樹

問合せ先 企画部長 粉生潤

(TEL 03-5411-2731)

## ポートフォリオの運用実績 (2026年2月) に関するお知らせ

インヴィンシブル投資法人(以下「本投資法人」といいます。)の当月(2026年2月)のポートフォリオの運用実績につき、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 国内ホテル

国内ホテルポートフォリオ(101物件ベース)(注1)の当月の運用実績は、前年同月との比較では、客室稼働率は+1.1ポイント、ADRは+1.1%、RevPARは+2.5%となりました。

当月の業績は、日中関係の悪化に起因する中国からの訪日客の減少の影響を受けたものの、他国からの訪日客及び国内客の需要は引き続き堅調でした。

日本政府観光局(JNTO)によれば、当月の訪日外客数(推計値)の総数は前年同月比+6.4%の346万人となり、2月としては過去最高の記録となりました。

2026年3月の国内ホテルポートフォリオ(101物件ベース)(注1)のRevPARは、本日現在、前年同月比+8.5%程度と予想しています。なお、本日現在、本投資法人の保有するホテルに関して、中東情勢の悪化に伴う業績への影響はほとんど見られません。

#### 2. 海外ホテル

「ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパ」及び「ザ・サンシャイン・ホテル&スイーツ」のケイマン2物件の当月の業績は、前年同月において「ザ・サンシャイン・ホテル&スイーツ」の客室棟が改装中だったこともあり、客室稼働率は81.8%(前年同月比+5.9ポイント)、ADRは\$738(前年同月比+0.6%(注7))、RevPARは\$604(前年同月比+8.5%)となりました。

2026年3月については、上述の理由と同様の理由により、本日現在、客室稼働率は84.2%(前年同月比+18.1ポイント)、ADRは\$790(前年同月比-3.3%(注7))、RevPARは\$665(前年同月比+23.2%)の予想です。

## 3. 運用実績

### (1) 国内ホテル 101 物件 (注1)

	当月	前年 同月	増減	当期累計	前年 同期累計	増減
客室稼働率 (注2)	86.3%	85.2%	+1.1pt	83.1%	82.5%	+0.6pt
ADR (円) (注3)	13,632	13,479	+1.1%	12,927	12,861	+0.5%
RevPAR (円) (注4)	11,770	11,488	+2.5%	10,736	10,608	+1.2%
売上高 (百万円)	8,235	7,922	+3.9%	16,242	15,735	+3.2%
客室売上高 (百万円)	5,515	5,380	+2.5%	10,600	10,469	+1.3%
非客室売上高 (百万円)	2,720	2,542	+7.0%	5,642	5,266	+7.1%

### (地域別実績)

地域	客室稼働率 (注2)	ADR (円) (注3)	RevPAR (円) (注4)
東京 23 区	90.7%	13,122	11,897
首都圏 (東京 23 区除く)	87.8%	10,884	9,551
中部	82.4%	12,406	10,226
関西	78.5%	11,233	8,813
九州	88.3%	14,281	12,607
北海道	88.6%	18,771	16,627
その他	82.1%	13,056	10,716
合計	86.3%	13,632	11,770

### (2) ケイマン 2 物件

	当月	前年 同月	増減	当期累計	前年 同期累計	増減
客室稼働率 (注2)	81.8%	75.8%	+5.9pt	76.4%	73.5%	+2.9pt
ADR (米ドル) (注3)	738	734	+0.6%	729	721	+1.2%
RevPAR (米ドル) (注4)	604	556	+8.5%	557	529	+5.2%
売上高 (千米ドル)	13,190	11,868	+11.1%	25,131	24,510	+2.5%
客室売上高 (千米ドル)	8,029	7,382	+8.8%	15,607	14,806	+5.4%
非客室売上高 (千米ドル)	5,161	4,485	+15.1%	9,524	9,704	-1.9%

(注1) 本投資法人が 2026 年 6 月期の期初時点で保有する国内ホテル 112 物件 (本投資法人が保有する特定目的会社の優先出資証券の裏付資産である「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」を含みます。)のうち、アイコニア・ホスピタリティ株式会社及びその子会社が運営する 101 物件を指します。

(注2) 「客室稼働率」は、次の計算式により算出しています。  
客室稼働率 = 対象期間中に稼働した延べ客室数 ÷ 対象期間中の総客室数 (客室数 × 日数)

- (注3) 「ADR」とは、平均客室単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の客室収入合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- (注4) 「RevPAR」とは1日当たり総客室数当たり客室収入 (Revenues Per Available Room) をいい、一定期間の客室収入合計を同期間の総客室数 (客室数×日数) 合計で除して算出され、客室稼働率をADRで乗じた値と同値となります。
- (注5) 客室稼働率、稼働率及び増減率は小数点以下第2位を四捨五入、ADR及びRevPARは単位未満を四捨五入、売上高は単位未満を切り捨てて記載しています。
- (注6) 各ホテルの個別の運用実績につきましては、以下をご参照ください。  
<https://www.invincible-inv.co.jp/portfolio/hotel.html>
- (注7) 2024年8月より大規模改修工事のために営業休止していたザ・サンシャイン・ホテル&スイーツの客室棟が2025年12月にリニューアル・オープンしたことにより、2026年のケイマン2ホテルのADRは前年同月比で減少することがあります。これは、ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパよりも低いザ・サンシャイン・ホテル&スイーツのADRがケイマン2ホテルの加重平均のADRを引き下げるためです。

以上

\* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.invincible-inv.co.jp/>